

令和 7 年度 事業報告

社会福祉法人 都留市社会福祉協議会

目次

基本方針	1
------	---

社会福祉事業

理事会・評議員会	2
都留市ボランティアセンターの運営	3
つるの福祉発行	3
各種ボランティア養成事業	4
都留市ボランティア連絡会の支援	4
ボランティアイベント事業	5
地区ボランティアコーディネーター設置事業	5
ボランティア団体助成事業	5
福祉バス（みどり号）運営事業	5
社会福祉大会事業	6
都留文科大学地域交流研究センターとの連携	6
災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業	7
福祉教育推進事業	7
ボランティア活動推進校事業	8
おふくろの味・知恵袋交換会	8
総合相談事業	8
福祉サービス利用援助事業	9
生活福祉資金貸付事業	9
社会福祉資金貸付事業	10
生活困窮者自立支援事業	10
法人後見事業	11
共同募金配分金事業	11
善意銀行事業	12
当事者組織の支援の実施	12
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業	13
ふれあい・いきいきサロン	13
おでかけ元気促進事業	14
福祉医療健康講座	14
老人の幸せの里づくり事業	14
ふとん丸洗い事業	15
歳末たすけあい事業	15

都留市老人クラブ連合会事業	16・17
地域ふれあい健康事業	18
生活支援体制整備事業	19
奉仕委員等（点訳字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員）養成事業	19
点字・声の広報など発行事業	20
障がい者スポーツの振興	20
いこいのひろば	20
障害者等相談支援事業	21
特定相談支援・障害児相談支援事業	22
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会 四者での意見調整・情報交換会	22
地区社協支援事業	23
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業	23
社会福祉基金事業	23
福祉バザー事業	23
地域福祉活動計画事業（組織発展・強化計画含む）	24
地域福祉研究事業	24
非常災害基金事業	24

介護サービス事業

居宅介護支援事業（ケアマネージャー）	25
訪問入浴介護事業	25
訪問介護事業（ヘルパー）	25
介護予防軽度生活支援事業	26
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護）	26
通所介護事業（デイサービス）	26
生きがい通所サービス事業	26
重度障害者訪問入浴事業	27
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）	27
自立支援居宅介護事業	27
障害者移動支援事業	28
基準該当生活介護事業	28
養育支援訪問事業	28

令和 7 年度事業報告

I 基本方針

近年、我が国では少子高齢化と人口減少が加速する中、単身世帯の増加や地域・家族のつながりの希薄化により、孤独・孤立の問題がかつてないほど深刻さを増しています。

特に、令和 7 年度は、長期化する物価高騰が家計を圧迫し、生活困窮や格差の拡大が懸念されるなど、住民生活を取り巻く環境は一段と厳しさを増した一年となりました。

このような中、都留市においても複雑化・複合化した社会問題が表面化しており、これまでの制度や枠組みだけでは困難な制度のはざまにある課題への対応が急務となっています。

都留市社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現に向け、「第 3 次都留市地域福祉活動計画」を推進しており、令和 7 年度は中間評価委員会を設置し、これまでの取り組みの検証を行いました。また、様々な事業でのアンケート調査等を基に、現場の声を真摯に受け止め、変化するニーズに即した支援の在り方を再確認するとともに、次期への課題を明確にする重要な機会となりました。

また、地域福祉活動の中核組織として、行政、民生委員・児童委員、社会福祉法人、NPO 法人、企業などと連携・協働し、誰ひとり取り残さない「地域共生社会」の実現にむけ、役職員一丸となり、地域のつながりを強化するため各事業を推進してまいりました。

社会福祉事業

事業名	事業の具体的内容と目的
理事会・評議員会	都留市社会福祉協議会は地域福祉の中心的な推進役として社会福祉法に位置づけられている。 法人運営においては、事業全体の管理や組織の管理を行うための理事会・評議員会を中心に法人の健全経営に努めることを目的とする。
事業実績	
○組織体制 理事 14 名／監事 2 名 評議員 18 名 ○理事会 ・第 1 回理事会／令和 7 年 6 月 9 日 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会定款中改正の件 - 令和 7 年度都留市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）の件 - 令和 6 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件 - 任期満了に伴う役員候補者の選任の件 - 各団体の役員改選に伴う評議員候補者の選定の件 - 任期満了に伴う評議員候補者の選定の件 - 評議員選任・解任委員の選任の件 - 評議員会の開催の件 - 会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ・第 2 回理事会／令和 7 年 6 月 23 日 - 会長、副会長及び常務理事の選定の件 ・第 3 回理事会／令和 7 年 12 月 17 日 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会職員就業規則中改正の件 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会経理規程中改正の件 - 令和 7 年度都留市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）の件 - 役員候補者の選任の件 - 評議員候補者の選定の件 - 評議員会の開催の件 - 会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ・第 4 回理事会／令和 8 年 3 月 16 日 - 専決処分の承認を求める件 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会定款中改正の件 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会役員等の報酬等を定める規程の全部改正の件 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則中改正の件 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会職員就業規則中改正の件 - 令和 8 年度社会福祉法人都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）の承認の件 - 評議員会の開催の件 - 常務理事の解職の件 ○評議員選任・解任委員会 ・第 1 回評議員選任・解任委員会／令和 7 年 6 月 9 日 - 各団体の役員改選に伴う評議員の選任の件 - 任期満了に伴う評議員の選任の件 ・第 2 回評議員選任・解任委員会／令和 7 年 12 月 17 日 - 評議員の選任の件 ○評議員会 ・令和 7 年度都留市社会福祉協議会定時評議員会／令和 7 年 6 月 23 日 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会定款中改正の件 - 令和 7 年度都留市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）の件 - 令和 6 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件 - 役員の選任の件 ・令和 7 年度都留市社会福祉協議会第 2 回評議員会／令和 7 年 12 月 24 日 - 令和 7 年度都留市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）の件 - 役員の選任の件 ・令和 7 年度都留市社会福祉協議会第 3 回評議員会／令和 8 年 3 月 25 日 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会定款中改正の件 - 社会福祉法人都留市社会福祉協議会役員等の報酬等を定める規程の全部改正の件 - 令和 8 年度社会福祉法人都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）の承認の件	

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティアセンターの運営 (1-1-1) (1-1-10)	住民のボランティア活動への関心を高めるとともに活動参加へのきっかけづくりを進め、市民参加型の福祉社会を実現することを目的とし、都留市ボランティアセンターを開設し運営する。 住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティア養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動促進全般の業務を行う。また、ボランティア・市民活動支援機能を強化するため基盤を整備する。
事業実績	
○ボランティア相談 ・ボランティア活動をしたい、受けたいなど全般的な相談を受け付けた。(随時) ○ボランティア情報ボード ・市内7カ所に設置した。 ○ボランティアコーディネーター業務 ・ボランティアグループ・団体実態調査実施した。(年1回) ・ボランティア活動保険加入手続きを行った。(基本プラン417名、天災プラン5名) ・ボランティア行事用保険加入手続きを行った。(42件、1,761名) ・貸館を行った。(いきいきプラザボランティア活動室、点字音声図書館、相談室4・5)(計365件) ○情報発信 ・YOUTUBE 1回、インスタグラムを活用した情報発信 107回	

事業名	事業の具体的内容と目的
「つるの福祉」 発行 ※(1-1-2)	社会福祉協議会が実施する事業や相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な情報を広く市民に周知することを目的とする。
事業実績	
○社協だより「つるの福祉」の発行	
月	内 容
5月	文大ボランティアフェス、令和7年度事業計画、令和7年度当初予算、都留市社会福祉協議会 会費のお願い、第43回都留市社会福祉大会、令和8年度事務局職員募集、赤い羽根共同募金結果報告、KAICHI I CAFE 実施報告、都留市介護支援ボランティア事業、善意銀行、総合相談、ボランティア活動保険、ボランティア活動助成金 手話奉仕員養成講習会、ケアマネージャー募集、山梨県シルバー作品展、老人の幸せの里づくり各種教室のお知らせ、おさらい会、絵手紙特集
8月	まぜまぜフェス、都留市社会福祉協議会会長退任、就任のご挨拶、新役員及び評議員の紹介、令和6年度決算報告、令和6年度 一般会費・特別会費・賛助会費、会費 ささえあい・ホットサービス都留 受講生募集、職員募集、介護事業所からののお知らせ、都留第二中学校3年生より絵葉書寄贈、第1回ふとん丸洗い事業、老人クラブ連合会 健康旅行、障害者差別地域相談、法人後見事業、生活困窮者自立相談支援事業、善意銀行、総合相談事業、災害ボランティアセンター訓練、谷村第一小学校ボッチャ体験、シルバー作品展、つるのお宝紹介
11月	神門ふれあい・いきいきサロン、赤い羽根共同募金、善意銀行、第2回ふとん丸洗い事業、介護事業所からののお知らせ、日常生活自立支援事業、総合相談事業、ささえあい・ホットサービス都留講座、幸町の地域活動、山梨 DWAT、職員募集、フードドライブ、都留サポートの会、折り紙教室、東部高齢者作品展、福祉バザー、つるのお宝紹介
2月	福祉教育、ご寄付のお礼、第3回ふとん丸洗い事業、ふれあい・いきいきサロン「一笑会」、山梨県社会福祉大会、中間評価委員会、都留市社会福祉大会、ボランティア活動助成金、高校生災害ボランティアスクール、文大ボラさんぽ、福祉バザー、都留市ボランティア団体交流会、障がい者スポーツ交流会、KAICHI I CAFE、福祉医療健康講座、ガイドヘルプボランティア養成講座、東部地域高齢者作品展、おさらい会、折り紙教室、ボウリング交流会、善意銀行、総合相談、特性や障害のある子の親の会、フードドライブ、職員募集、赤い羽根共同募金、つるのお宝紹介

※事業各欄の()内の数字は、本事業報告の事業が「地域福祉活動計画」の事業と突合できるように「地域福祉活動計画」で示した下記事項の番号を記載したものです。(基本目標 — 取り組み目標 — 各事業)

事業名	事業の具体的内容と目的
各種ボランティア養成事業 (1-1-3)	ボランティアニーズ・活動経験・参加意欲・年代に応じた各種講座を開催しボランティア活動を活性化することを目的とする。 ボランティア入門講座、青少年のボランティア体験、ボランティア講習会経験者編、在宅福祉ボランティア講座、中学生のボランティア体験学習など地域課題に即したプログラムで開催する。
事業実績	
○講座・イベント等 ・長寿介護課と連携し、はつらつ学園学級「ふれあい講座」に参加した。 (7月9日 参加者 31名) ・都留文科大学生と共同募金ボランティアを行った。 (10月16日 参加者 20名) ・都留文科大学生とゴミ拾い活動を行った。 (12月4日 参加者 22名) ・ささえあいホットサービス都留フォローアップ講座を実施した。 (7月30日(水) 参加者: 9名) ・ささえあいホットサービス都留養成講座を実施した。 (8月21日(木) 参加者: 11名) ・【新】声の広報CD録音研修を行った。 (令和7年7月～令和8年3月の月1回実施 のべ21名) ○調査・研究 ・点字、朗読奉仕員等の実施について調査、研究した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティア連絡会の支援 (1-1-4)	ボランティア間の連絡、情報交換を行い、円滑なボランティア活動の推進と、地域福祉活動の進展に寄与することを目的とする都留市ボランティア連絡会の運営を支援する。 都留市ボランティア連絡会の事務局機能を果たし、連絡会の運営を支援する。
事業実績	
○連絡会事務局業務 ・ボランティア連絡会総会を実施した。 (令和7年6月11日 20名参加) ・理事会を開催した。 (理事会: 年8回延べ72名参加) ・ボランティアに関するアンケート調査を実施し、今求められるボランティアについて調査した。 ・ボランティア団体助成金の交付を受けた。 (年間: 50,000円) ・ボランティア団体交流会を実施した。 (1月13日 参加者: 8名) ○その他 ・ボランティア間の連絡、情報交換など円滑なボランティア活動の推進と地域福祉活動の進展を目的に支援した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティアイベント事業 （【新】まぜまぜフェス） （旧ボランティアまつり） （1-1-5）	市民一人ひとりが、ごく自然にボランティア・市民活動に参加できるきっかけづくり、意識啓発、交流できるイベントを開催し、都留市のボランティア・市民活動の輪をさらに大きくひろげ活動の活性化を図ることを目的とする。
事業実績	
○【新】まぜまぜフェスの開催 - 令和7年4月29日に田原交流センターニコットと連携し、こどもまんなかほとりフェスタ内のイベントの一部として、社会福祉協議会ブースを設置させていただき、地域福祉、障がい福祉をテーマに地域住民、ボランティア団体、福祉関係者が交流し、互いの理解を深める場づくりを試行的に実施した。 （令和7年4月29日 参加者：約2,000名） - 開催にあたり、各種会議への参加およびボランティア連絡会と連携し会議を開いた。 （計10回）	

事業名	事業の具体的内容と目的
地区ボランティアコーディネーター設置事業 （1-1-6）	身近な地域の中で住民のボランティア活動への関心を高め活動参加へのきっかけづくりを進めるとともに、ボランティア活動の現状やニーズ等情報を収集し、円滑なボランティア活動の推進とコーディネート機能の向上を図ることを目的とする。 市内7地区にボランティアコーディネーターを設置する。
事業実績	
【休止】担い手不足により組織としては休止となるが、都留市内で活躍している個人ボランティアの支援を引き続き行っている。	

事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア団体助成事業 （1-1-7）	地域の中で自主的に活動しているボランティア団体・グループが、活動を継続し、さらに発展していけるよう、支援することを目的とする。 1団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付する。
事業実績	
○ボランティア団体助成金の交付 団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付した。 （計10団体へ助成 合計 500,000円） （こぶたの会、手話サークル千羽会、コーヒーボランティア カフェマラード、ひびきの会、おもちゃ病院「ムササビ」、こぐまクラブ、あすなろ学習会、「歌声のつどい」ボランティア 都留市防災ネットアマチュア無線クラブ、都留市ボランティア連絡会）	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バス（みどり号）運営事業 （1-1-8）	老人クラブ、福祉団体、ボランティア団体など（福祉バス使用規程）の社会福祉活動の利便をはかることを目的とし、福祉バスを運行する。
事業実績	
○福祉バス（みどり号）の運行 - 単位老人クラブの送迎を行った。（年159回） - 各種福祉団体の送迎を行った。（年23回）	

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉大会 事業 (1-1-9)	本市社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表するとともに、より一層の地域福祉活動の充実を図ることを目的とする。 地域福祉に関する講演等を実施する。
事業実績	
○都留市社会福祉大会の実施 開催日 令和8年3月4日 午後1時30分 会場 都の杜うぐいすホール 小ホール 内容 出席者：109名5団体 対象者：顕彰：11名9団体、都留市市長表彰：15名2団体、社協会長表彰：37名9団体 社協会長感謝状：4名1団体、老人クラブ会長表彰：5名 老人クラブ会長感謝状：1名 講演 テーマ「介護予防・認知症予防として、何をすべきか！～快適な日々を送るために～」 講師 小久保 晴代 氏（フリーアナウンサー／健康・防災アドバイザー）	

事業名	事業の具体的内容と目的
都留文科大学地域交流研究センターとの連携 (1-1-10)	学生の身近な場所に出会いと交流の場を設け、地域のボランティアニーズ・福祉課題と学生をつなぐ双方向の関係を築き、学生のボランティア参加促進とニーズ対応力を高めることを目的として、文大ボランティアひろばを開催する。
事業実績	
○【新】文大ボランティアフェスの開催 （令和7年4月10日 参加者135名） ○文大ボランティアひろばの開催 ・打合せ等を行った。 （年5回、延べ25名） ・都留文科大学学生と共同募金ボランティアを行った。 （10月16日 参加者20名） ・都留文科大学学生とゴミ拾い活動を行った。 （12月4日 参加者22名）	

事業名	事業の具体的内容と目的
災害救援ボランティア・福祉 救援ネットワーク活動事業 (1-2-11)	大規模な自然災害が発生した場合に備え、平常時から住民の意識啓発活動、災害ボランティアセンター・福祉救援活動の基盤整備、災害時要援護者の支援体制づくりを目的とする。 都留市災害救援ボランティア連絡会、災害ボランティアコーディネーター研修、青少年災害ボランティアスクール、災害時要援護者支援班活動、防災ネットアマチュア無線クラブ、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を行う。
事業実績	
○研修会等の実施 ・山梨県立都留興譲館高等学校・谷村地域協働のまちづくり推進会和協働して高校生災害ボランティアスクールを開催した。 (令和7年10月24日 講演1回、参加者:540名、実技1回 参加者:114名) ・災害ボランティアセンター室内設置・運営訓練を開催した。 (令和7年7月5日 参加者:47名) ・【新】キントーン操作訓練を開催した。 (令和8年2月20日 参加者:15名) ・【新】災害ボランティアセンター県内市町村社協合同運営訓練を開催する。 (令和7年3月12日 参加者:26名) ○会議・協議等 ・都留市役所総務課危機管理担当と災害時の協力について協議した。 ・セーフコミュニティ会議に出席した。(年1回、参加者12人) ○その他 ・災害ボランティアセンター運営マニュアルを改定した。 ・【新】災害ボランティアセンター特設ページ(HP)を作成した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉教育推進事業 (1-3-12)	児童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心を高め、様々な体験活動を通じて社会連帯・ボランティア精神・福祉のこころを醸成するとともに、子どもたちを通じて家庭や地域へ啓発を図ることを目的とする。 福祉のこころ醸成事業、学校からの相談援助業務を行う。
事業実績	
○情報発信 ・福祉教育などの情報提供を行った。(年6回) ○調査、研究 ・谷村第二小学校で行われた「谷ニッコリカフェ」に参加し情報収集を行った。 (令和7年11月13日 参加者19名) ○児童・生徒連絡協議会の支援 ・ペットボトルキャップやプルタブ、12月には歳末助け合いの受付を行った。	

事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア活動推進校事業 (1-3-13)	市内小学校及び中学校の児童・生徒が体験をとおりて、社会福祉への理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助と社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的とする。 市内の小・中・高等学校 11 校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付し活動を支援するとともに、相談援助業務を行う。
事業実績	
○福祉教育支援 市内小学校における福祉教育プログラムへの講師派遣を行った。	
令和 7 年 6 月 12 日	谷村第一小学校 3 年生 94 名 ボッチャ体験 講師 ボッチャの会
令和 7 年 11 月 6 日	禾生第二小学校 4 年生 17 名 視覚障がいの理解 講師 菊島巧氏
令和 7 年 11 月 14 日	禾生第二小学校 4 年生 17 名 聴覚障がいの理解 講師 関根ふじゑ氏 千羽会
令和 7 年 11 月 25 日	禾生第一小学校 4 年生 46 名 手話の理解 講師 安江由紀子氏
令和 7 年 12 月 1 日	禾生第一小学校 4 年生 36 名 点字の理解 講師 小宮美砂子氏
令和 8 年 2 月 20 日	谷村第二小学校 4 年生 18 名＋全校生 デフリンピック卓球日本代表のお話 講師 亀澤史憲氏

事業名	事業の具体的内容と目的
おふくろの味・知恵袋交換会 (1-4-14)	高齢者のもつ様々な知識や技術を地域福祉活動に活かし高齢者の生きがいづくりボランティア活動の参加促進を図るとともに、世代間交流の輪を広げ、家庭生活に役立つ様々な生活文化を伝授しあいそれぞれの日常生活を豊かなものにするを目的とする。 おふくろの味を伝授する料理教室や、生活の知恵を伝授する機会を設ける。
事業実績	
【休止】社協事業としては休止したが、都留市役所で実施している「のびのび興譲館 クッキング塾」など地域で料理教室が開催されている。	

事業名	事業の具体的内容と目的		
総合相談事業 (2-5-15)	住民の暮らしの中の各種福祉相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な支援や助言を行い、課題解決に向けた取り組みを行う。また、司法書士による暮らしの中の身近な法律相談を行う。		
事業実績			
○相談会			
・司法書士による相談会を実施した。			
相談日時：毎月第1・第3金曜日 13時～16時 一組45分			
種類	開催日	開催日数	相談件数
司法書士による相談会	月2回（金）	24回	54件

事業名	事業の具体的な内容と目的
福祉サービス利用援助事業 (2-5-16)	都留・道志地区地域福祉権利擁護センター（都留市・道志村）の基幹社協として、道志村社会福祉協議会と連携し、様々なサービスを適切に利用することが困難な方（認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者）を対象に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施し、できるだけ自立して生活が送れるよう支援することを目的とする。
事業実績	
○担当地区日常生活自立支援事業実施状況（令和7年4月1日～令和8年3月末） - 問合せ・相談件数： 785 件 （認知 263 件、知的 197 件、精神 213 件、その他 85 件） - 契約締結件数：6 名（認知症 3 名、知的 2 名、精神 1 名） - 契約終了件数：11 名（認知症 5 名、知的 4 名、精神 2 名） ○実利用者数 22 名（令和8年3月末） - 都留市 18 名 - 道志村 4 名 ○日常生活自立支援事業の広報・周知 - 各協力社協より相談内容や件数を定期的に聴取した。 - 協力社協を訪問・電話連絡・パンフレットを送付することにより周知した。 ○日常生活自立支援事業の契約 - 利用者の自宅等を訪問し、調査・契約・支援計画・預かり書を作成した。 ○基幹的社会福祉協議会連絡会議への出席	
○専門員による各市町村協力社協への訪問、記録チェックケース記録、通帳コピー等との照合	
○契約終了に伴う手続き	

事業名	事業の具体的内容と目的		
生活福祉資金貸付事業 (2-5-17)	低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。		
	また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策として実施されてきた緊急小口資金等の特例貸付の償還が令和5年1月より開始されたことに伴い、県社協の窓口として償還に関する相談支援業務を行う。		
事業実績			
○生活福祉資金相談件数			
延相談件数		貸付件数	貸付決定額
102 件		2 件	7,380,000 円
○生活福祉資金特例貸付に係るフォローアップ支援業務相談件数			
・ 償還免除者の状況確認、把握のためのアンケート調査等の実施及び整理を行った。			
調査結果			
免除対象者		回答	未回答
87 人		35 人	48 人
※未回答・返戻者の内、訪問や架電で調査ができた方、回答が得られた方は 48 人			
・ 未回答・返戻者の内、訪問や架電を行っても状況がわからなかった方は 4 人			
○フォローアップ支援業務における特例貸付償還免除者への対応延べ件数			
訪問数		架電数	来所
15 人		119 人	12 人
			合計
			146 人
○他機関へのつなぎ延べ件数			
32 件			

事業名	事業の具体的内容と目的		
社会福祉資金貸付事業 (2-5-18)	1 一般貸付 生活困窮世帯に対し、一時的に資金を貸付け、生活意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に 50,000 円以内を貸付する。		
	2 高額医療費貸付(国民健康保険世帯) 高額医療費支給推定額 80%以内で、最高限度額を 300,000 円とする。		
事業実績			
○相談業務 資金の貸付業務および相談業務を実施した。			
	相談件数	貸付件数	貸付額
一般貸付	2 件	0 件	0 円
高額医療費貸付	0 件	0 件	0 円

事業名	事業の具体的内容と目的											
生活困窮者自立支援事業 (2-5-19)	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者が、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行うことを目的とする。											
事業展開												
○自立相談支援												
・生活や仕事に対する心配や悩みを抱えている人に対して、地域において自立した生活が行えるように無料で相談に応じ、その人が抱える様々な問題に対応する。また、食料支援窓口を行う。												
○実績												
新規相談受付件数												
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
5	10	3	6	6	6	3	4	6	4	6	7	66
評価実施件数中就労支援対象者分うち一般就労開始												
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0	1	2	3	1	0	0	0	1	1	0	3	12
プラン作成者外												
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4
食料支援受付件数												
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
3	6	2	6	5	3	1	1	2	3	3	3	38

事業名	事業の具体的内容と目的
法人後見事業 (2-5-20)	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人または補助人（以下「成年後見人等」という。）となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人、（以下「成年被後見人等」という。）の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを目的とする。
事業展開	
○法人後見等運営委員会の開催 ・第1回運営委員会／令和7年7月24日 令和6年度事業報告、日常生活自立支援事業について、法人後見事業について ・第2回運営委員会／令和7年8月21日 法人後見等の受任について ○受任件数 ・1件（成年後見人） ○広報・周知活動 ・つるの福祉に記事を掲載した。（年1回） ・都留市社会福祉協議会居宅介護支援事業所研修会に参加し法人後見事業につて説明した。（年1回） ・関係者との連携会議を行った。 ・地域連携ネットワーク会議に参加した。（年3回） ・中核機関との打合せを行った。（年3回） ・令和7年度家事関係機関との連絡協議会を書面開催した。（年1回） ○関係者が実施するアンケート調査 ・年2回アンケートに協力した。 ○相談援助業務 ・相談件数 年3件 ○研修 ・成年後見制度に関する研修会に参加した。（年2回）	

事業名	事業の具体的内容と目的
共同募金配分金事業 (2-6-21) (3-12-58)	善意による住民の募金の配分金を効率的に利用し、社会福祉事業に役立てることを目的とする。
事業実績	
○赤い羽根共同募金運動 ・令和7年10月1日～令和8年3月31日（計4,023,859円） 街頭募金、戸別募金、職場募金、大口募金、歳末たすけあい運動等を実施した。 ○令和6年度共同募金令和7年実施事業報告 ・地域社会福祉事業 市社協広報誌「つるの福祉」発行事業、社会福祉大会事業 ・安心安全なまちづくり支援事業（災害ボランティアセンター事業） ・市町村社会福祉協議会地域福祉活動事務費 ボランティア推進校事業、まぜまぜフェス事業、総合相談事業 ・住民参加型有償在宅福祉サービス事業 ・地域福祉活動団体推進事業 ・老人ゲートボール大会事業（実施せず） ・障害者ふれあいスポーツ交流会事業 ・歳末たすけあい事業 ○その他 ・都留文科大学学生と共同募金ボランティアを行った。 （10月16日 参加者20名） ・都留市社会福祉協議会賛助会員へ依頼しPaypayのQRコード付きポスターの掲示を行った。	

事業名	事業の具体的内容と目的		
善意銀行事業 (2-6-22) (3-12-59)	都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。 善意銀行の業務を行う。		
事業実績			
○物品預託 ・物品：：213 件 プルタブ・ペットボトルキャップ・使用済み切手等を受け入れた。 ・社協だより（つるの福祉）へ随時掲載した。			
○金品払出、物品払出 ・寄付金：589,614 円を受け入れた。 ・子ども食堂へ23,014 円を払い出した。 ・物品：米（14 件 100Kg）、タオル等を払い出した。 ・保育園・認定こども園に通う園児をもつひとり親世帯へ支援した。 （1/26～2/9 食糧品（米、切り餅、乾麺）：31世帯）			
○【新】食料支援 ・近年の物価高騰等の影響により、学校給食の提供がない冬休み期間中において、十分な食事の確保が困難な世帯の子どもに対し、山梨県の支援事業を活用し食料支援を実施した。 対象世帯 就学援助を受給している世帯および児童生徒がいる生活保護受給世帯 申請件数			
対象世帯	世帯数	申請数	児童生徒一人当たり
就学援助を受けている世帯	161	100	100
児童生徒のいる生活保護世帯	3	3	7
合計	164	103	107

事業名	事業の具体的内容と目的
当事者組織の支援の実施 (2-6-23) (2-9-46)	ひきこもりや不登校の子を持つ親と本人が、社会から孤立することを防ぎ、お互いに悩みを分かち合い、共有し、連携することで相互に支えあい、地域で安心して生活できるよう当事者組織等の活動を支援する。 会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生きられるよう自立と社会参加をめざして活動を行う視覚障がい者の当事者組織を支援することを目的とする。 山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。
事業実績	
○各種支援 ・ありがとう花束の会（ひきこもりや不登校の方々とその家族の会）の活動を支援した。（年 12 回） ・山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援した。	

事業名	事業の具体的内容と目的										
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業 (2-7-25)	日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合い、誰もが自立した、より豊かな生活が送れるよう、住民が、支え合いの精神に基づいた主体的な参加と協力により、よりきめ細やかな福祉サービスを展開することを目的とする。 住民参加型有償在宅福祉サービス「ささえあい・ホットサービス都留」を展開する。サービスを提供する有償ボランティア養成講座を開催し円滑に事業を展開する。										
事業実績											
○有償ボランティア活動 利用者会員数： 9 名 協力会員数： 10 名 生活支援ニーズと支援できる人とのマッチング（計 57 回） <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th><th>回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常的な住居等の清掃、整理整頓</td><td>9</td></tr> <tr> <td>大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し</td><td>37</td></tr> <tr> <td>庭の草取り、庭木の剪定</td><td>11</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>57</td></tr> </tbody> </table>		支援内容	回数	日常的な住居等の清掃、整理整頓	9	大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し	37	庭の草取り、庭木の剪定	11	合計	57
支援内容	回数										
日常的な住居等の清掃、整理整頓	9										
大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し	37										
庭の草取り、庭木の剪定	11										
合計	57										
○調査、研究 協力会員継続調査を実施した。（年 1 回）											
○養成講座等 ・ささえあいホットサービス都留フォローアップ講座を実施した。 （7 月 30 日（水） 参加者：9 名） ・ささえあいホットサービス都留養成講座を実施した。 （8 月 21 日（木） 参加者：11 名）											

事業名	事業の具体的内容と目的
ふれあい・いきいきサロン (2-8-27)	在宅の高齢者が気軽に集いお互いに交流を深め、地域の人たちとのふれあいの輪を広げるとともに、皆で支えあう地域づくりを目指し、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくり、早期の介護予防活動の推進と地域ボランティア活動の促進を図ることを目的とする。 身近な地域におけるふれあい・いきいきサロン活動を推進する。
事業実績	
○ふれあい・いきいきサロンの実施 各地区担当者中心にサロン活動の支援などを行った。 ・ふれあい・いきいきサロン活動 市内 29 か所 実施回数 404 回 延べ参加者 6,623 名 ○【新】交流会 ・通いの場交流会を実施した。 （1 月 29 日 参加者 54 名） ○【新】通いの場連携会議 ・連携会議に出席し情報収集等を行った。 （年 2 回、のべ 28 名参加） ○【新】通いの場作品展 ・打合せ会に参加 （令和 7 年 9 月 16 日 参加者 19 名）	

事業名	事業の具体的内容と目的
おでかけ元気促進事業 (2-8-28)	早期の介護予防活動の推進と互惠共生社会の促進を図るため、自治会等（団体）が自主的・主体的に実施する、ふれあいいきいきサロンに対して、物品購入等サロンの整備を行うことを目的とする。 1 団体 10 万円を上限とする。
事業実績	
○新規サロン立ち上げ支援 ・ 禾生地区において「禾生健康麻雀友の会」の設立に伴う支援を行った。 内容：週 1 回 禾生地域コミュニティセンターにて麻雀を行うための雀卓購入費支援（交付額 78,728 円） ・ 禾生地区における新規サロン設立に伴う相談を受け付けた。（カラオケサロン）	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉医療健康講座 (2-8-29)	都留医師会、都留 CATV、山梨大学と協働し、「福祉・医療・健康」について市民と医師のディスカッション形式の対話集会を開催し、地域社会に対する福祉・医療の啓蒙・啓発活動に努めると共に、住民の病気予防活動につなげることを目的とする。
事業実績	
○福祉医療健康講座の実施 ・ 10 月 26 日 都留文科大学 6 号館（THMC）3 階にて実施した。（参加者：61 名） テーマ 演題「消化器内科で知っていただきたいこと～長寿の方を診療してきた健康アドバイス～」 講師 山梨大学大学院内科学講座消化器内科学教室 教授 土屋 淳紀	

事業名	事業の具体的内容と目的	
老人の幸せの里づくり事業 (2-8-30)	高齢者の生きがいづくりとして、各教室（民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋・能楽）を開催し、介護予防や引きこもり防止につなげることを目的とする。 また、一年の活動の成果を発表する場として「ふるさと祭りおさらい会」を開催する。	
事業実績		
○ふるさと祭りおさらい会 ・令和8年3月11日に都の杜うぐいすホールにて実施した。（参加者 124名） ○各種教室 ・高齢者の生きがいづくり・社会参加のため、各教室を自主的に実施した。		
教室名	開催数	延べ参加者数
民謡教室	17回	151名
囲碁教室	24回	296名
将棋教室	22回	85名
舞踊教室	17回	101名
歌謡教室	11回	85名
詩吟教室	14回	67名
能楽教室	24回	132名
計 129 回		計 917 名

事業名	事業の具体的内容と目的			
ふとん丸洗い事業（2-8-31）	在宅のねたきり老人世帯等に対し、ふとん丸洗い事業を実施することにより、健康で衛生的な在宅福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業実績				
○ふとん丸洗い事業				
・健康で衛生的な在宅福祉増進のため、在宅の老人世帯等に対し年3回ふとん丸洗いを実施した。				
	8月17日～ 8月27日	12月7日～ 12月17日	3月1日～ 3月11日	合計
実人数	21	19	17	57名
枚数	38	36	34	108枚
リース利用件数	0	0	0	0件

事業名	事業の具体的内容と目的
歳末たすけあい事業 (2-8-34)	80歳以上のひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈し、歳末の買物の一助にしてもらうことを目的とする。
事業実績	
○援護物資を支給	
・80歳以上の在宅ひとり暮らし高齢者（420世帯）に現金3,000円、寝たきり高齢者（37世帯）にタオル・現金3,000円の受け渡しを行った。（計457世帯）	
○【新】協議	
・都留市からの補助金などが受けられないことから自主財源のみで実施した。	
・令和8年1月の民生委員・児童委員全体研修会および令和8年3月の理事会・評議員会にて次年度以降の取り組みについて共有した。	
※令和8年度は冬休み中の就学援助を受けた家庭に対し支援を行っていくこととなる。	

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市老人クラブ連合会事業 (2-8-35)	高齢者が中心となって地域で支え合う基盤づくりを進め安心して暮らせるまちづくりを作りことを目的として、高齢者の生きがい活動、健康づくり活動、仲間づくりなど、多彩な活動を進める老人クラブ活動を事務局として支援する。
事業実績	
○組織の活発な運営と連絡調整 ・連合会の活動推進 都留市老人クラブ連合会の事業活動の合理的運営を図るため、各種会議を開催した。 理事会年3回、定期総年1回、会長会議年1回、幹部会議年1回 ・老人クラブの育成指導 県老連主催の第1回市町村老連リーダー研修会に参加した。年1回 参加者6名 県老連主催の第1回 山梨いきいきシニアまつりに参加した。年1回 参加者1名 ・女性委員会の活動推進 女性委員会の開催 年2回 参加22名 県老連主催の女性リーダー研修会に参加した。年1回 参加者10名 ○老人クラブ活動広報啓発の推進 ・都留市老人クラブ連合会愛称の活用 愛称「つる笑輪会」を活用して、積極的に老人クラブのPR活動を行った。 ・会員の増強運動 都留市老人クラブ連合会の各種会議の折に、会員増強運動について呼びかけを行った。 ・つるの福祉へ記事掲載 都留市老人クラブ連合会の諸事業について、社協だより「つるの福祉」に随時情報を掲載した。 年4回 ○都留市老人クラブサポート事業の推進（新規） ・都留市商工会・都留市商店連合会・都留飲食店組合・つるポイントカード店会の協力のもと、サポート店が独自に設定した割引やサービスを、老人クラブ会員が受けられるサポート事業を新たに実施した。 サポート店登録 66店舗 老人クラブ会員証発行 1,751枚 ○社会奉仕活動事業 ・「全国一斉社会奉仕の日」 環境美化運動の日（9月20日）を中心に、各单位老人クラブにおいて、神社や道路、公民館等の清掃活動等を実施した。実施クラブ20クラブ 参加者 延べ1,195名 ・清掃奉仕活動 各单位老人クラブにおいて、年間を通して、地区内各所の清掃奉仕活動を実施した。 実施クラブ20クラブ 参加者 延べ1,195名 ・花いっぱい運動 各单位老人クラブにおいて、花いっぱい運動を実施した。 実施クラブ9クラブ 参加者 延べ269名 ・一円玉募金運動 連合会の特別な事業に備え、昨年に引き続き一円玉募金運動を実施しました。 ＜収入＞ 単位老人クラブ等募金額 40,382円 預金利子3,024円 合計43,406円 ・友愛訪問活動事業 市内の一人暮らしで虚弱な高齢者を対象に、単位老人クラブごとに訪問、安否確認や話し相手になるなど、友愛訪問活動を実施した。 ・共同募金運動へ協力 街頭募金に協力した。年1回 参加者1名	

○福祉活動推進事業

- ・ 第 64 回山梨県老人福祉大会へ参加 令和 7 年 9 月 17 日 参加者 5 名
- ・ 第 44 回都留市社会福祉大会へ参加 市長表彰 1 名 市社協会長表彰 5 名 市老連会長表彰 4 名
市老連感謝状 1 名

○文化・教養活動事業

- ・ 市老連旅行
旅行期日 令和 7 年 10 月 21 日・22 日 参加者 78 名（バス 2 台）
コ ー ス 「鹿島・牛久と犬吠埼温泉」
- ・ 令和 7 年度東部地域高齢者作品展に出展
令和 8 年 2 月 24 日から 26 日に、令和 7 年度東部地域高齢者作品展（会場：大月市総合福祉センター）が開催され、都留市から出展した。出展者数 15 名、出展数 21 点
また、前年度（令和 6 年度）優秀作品 9 点は、令和 7 年 6 月 13 日から 15 日に開催された山梨県シルバー作品展に出展し、4 名が入賞した。

○芸能・趣味活動事業

- ・ 老人のしあわせの里づくり事業（市社協事業）
高齢者の生きがいづくり、社会参加のため、7 教室（民謡・詩吟・舞踊・囲碁・将棋・歌謡・能楽）が自主的に実施された。年 129 回 参加者 延べ 917 名
- ・ ふるさと祭りおさらい会の開催
令和 8 年 3 月 11 日 参加者 124 名（出演者 90 名、来賓 3 名、観覧者 17 名、スタッフ 14 名）

○健康づくり活動の増進

- ・ 第 42 回山梨県シニアゲートボール大会へ参加した。 令和 7 年 9 月 25 日 参加者 10 名
- ・ 令和 7 年度健康づくりリーダー研修会へ参加した。 年 4 回 参加者延べ 56 名
- ・ つる笑輪会ふれあいの集いを開催した。 令和 7 年 10 月 8 日 参加者 61 名
- ・ フィットネスウォーキングで健康ライフ！を開催した。 令和 7 年 10 月 28 日 参加者 31 名
- ・ 大人の素敵な折り紙教室を開催した。 令和 7 年 11 月 12 日 参加者 26 名
- ・ つる笑輪会健康ボウリング交流会を開催した。 令和 7 年 11 月 20 日 参加者 30 名
- ・ 第 18 回グラウンド・ゴルフ大会へ参加した。 令和 7 年 11 月 26 日 参加者 2 チーム 12 名

事業名		事業の具体的内容と目的			
地域ふれあい健康推進事業 (2-8-36)		都留市内の7地区（谷村地区、三吉地区、開地地区、東桂地区、宝地区、禾生地区、盛里地区）において、地域住民主体による介護予防活動の展開を図ることを目的とする。 地域ふれあい健康事業を行う。			
事業実績					
○地域ふれあい健康事業の実施 ・都留市内5地区において、地区社会福祉協議会や協働のまちづくり推進会と連携し介護予防事業を開催した。					
地区	事業	内容	人数	実施日	助成額
三吉地区 社会福祉協議会	健康サロン	世代間交流をかねてスターらんどにて、ゲームやカラオケなどの心と体の健康づくりを実施した。	45 名	7/3	124,234 円
	グラウンドゴルフ教室	健康づくりのためのグラウンドゴルフ大会を玉川グラウンドで行った。	40 名	11/15	29,421 円
東桂地区 社会福祉協議会	第22回まちづくり文化祭・東桂	健康運動指導士による健康体操を実施するとともに、健康グッズを配り、使用法の指導を受けた。	約200名 (来場者 約1,000名)	11/9	188,200 円
宝地域協働のまちづくり推進会	ふれあい事業	チェアエクササイズや口腔ケア、血液サラサラチェック等を開催した。	30 名	11/8	194,517 円
禾生地区 社会福祉協議会	ふれあい福祉集会	高齢者の外出の機会を創出し、参加者同士の交流を行った。 イベントボランティアなどによる催しを実施した。	168 名	10/26	200,000 円
	ふれあい福祉集会	健康の話や災害、介護保険について説明を受けた。	26 名	3/13	0 円
盛里地域協働のまちづくり推進会	都留市地域ふれあい健康事業	エレキ大正琴、詩吟、フラダンスによる演奏会や紅富士太鼓、体操教室、管楽アンサンブル等を行うことで、外出機会の創出や健康意識の向上のため実施した。	118 名	10/5	200,000 円

事業名	事業の具体的内容と目的
生活支援体制整備事業 (2-8-37)	日常生活上を送る上で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援サービスの提供体制を構築するため、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）及び就労的活動支援コーディネーター（就労的活動支援員）を配置し、市全域の生活支援サービスの開発や普及、さらに基盤整備を推進する第1層生活支援コーディネーターと連携を図りながら、市全域における支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、生活支援サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を一体的に図ることを目的とする。
事業実績	
○打合せ会など ・【新】第1層コーディネーターとの定期打ち合わせ会を実施した。 (年13回、のべ61名) ・都留市商工会との買い物事業に向けた相談を行った。 (令和7年6月19日 参加者：7名) ・開地地区真福寺にて「開地あいかふえ」開催に伴う現状報告を行った。 (令和7年6月20日 参加者：7名) ○研修 ・生活支援コーディネーター養成オンライン研修会に参加した。 (年6回、ZOOM) ・生活支援コーディネーター養成・スキルアップ研修会に参加した。 (令和7年6月18日 参加者36名) ・都留市地域づくり強化支援事業集中支援に参加した。 (令和7年8月19日 参加者14名) ・生活支援コーディネーター中堅研修に参加した。 (令和7年12月4日 ZOOM) ○その他 地域のサロン活動への参加や都留市における生活状況調査などを実施した。 ○介護支援ボランティア ・新規登録を行った (計6名) ・【新】事業継続調査を実施した。(継続登録者43名※辞退66名)	

事業名	事業の具体的内容と目的
奉仕員等(点訳字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員)養成事業 (2-9-44)	障がい者にとって最も身近な市町村において、ノーマライゼーション（障がいのある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり）の理念の実現に向けて、コミュニケーション支援、情報支援など障がい者の需要に応じた事業を実施することにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。 手話奉仕員・点訳奉仕員・朗読奉仕員養成講習会を開催する。
事業実績	
○手話奉仕員養成事業 ・手話奉仕員養成講習会(入門・基礎)を開催した。 (年40回開催、養成人員25名 修了人数13名) ○調査、研究 ・点字奉仕員養成及び朗読奉仕員について調査・研究を行った。	

事業名	事業の具体的内容と目的
点字・声の広報など発行事業 (2-9-45)	視覚障がい者にとって住みやすい地域とは、全盲や高齢化に伴う弱視といった視覚障がい者について正しい理解がすすみ、地域の情報や制度が適切に得られることである。地域の様々な情報を点訳・音声訳朗読などで視覚障がい者にわかりやすく情報を届ける情報支援を行うことを目的とする。 広報つる、議会だより、つるの福祉、生活情報、行政情報を点字や声の広報にしてお届けする。
事業実績	
○音声訳広報 ・広報つるの音訳を行った。(年 12 回発行) ・議会だよりの音訳を行った。(年 4 回発行 5 月、8 月、11 月、2 月) ・つるの福祉の音訳を行った。(年 4 回発行 5 月、8 月、11 月、2 月) ○点訳広報 ・生活情報を発信した。(年 6 回実施) ・行政関係資料を発信した。(年 4 回実施)	

事業名	事業の具体的内容と目的
障がい者スポーツの振興 (2-9-47)	障がい者団体・障がい者施設・デイケアなどとネットワークをつくり、障がい者同士の交流と地域住民の交流の場としてスポーツ交流会を開催し、スポーツの楽しさを通じて親交を深めるとともに相互理解を深め、共に生きる地域社会づくりをすすめることを目的とする。 グランドゴルフ交流会を開催する。
事業実績	
○障がい者スポーツ交流会 ・障がい者同士の交流のため、スポーツ交流会を実施した。 日時 令和 7 年 10 月 18 日 午前 9 時～正午 場所 玉川グラウンド 参加者 計 69 名 (内訳：都留市身体障害者福祉会 13 名、グラウンドゴルフ協会 11 名、みとおし 13 名、回生病院デイケア 3 名、むつみの家 10 名、視覚障害者協会都留支部 5 名、手話サークル千羽会 8 名、福祉課 2 名、社協 4 名)	

事業名	事業の具体的内容と目的
いこいのひろば (2-9-48)	障がいの有無に関係なく、地域の方々、障がいのある方々、学生が一体となり誰もが充実して楽しく過ごせるような地域づくりを目的とする。 いこいのひろばを定期的開催する。
事業実績	
【休止】いこいのひろば事業は休止だが、都留文科大学クロスボーダーというゼミ活動にて障がい者の余暇支援活動を継続して実施している。	

事業名	事業の具体的内容と目的								
障害者等相談支援事業 (2-9-49)	障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障がい福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見の為の関係機関との連絡調整その他の障がい者等の権利擁護のために必要な援助（相談支援事業）を行うことを目的とする。								
事業展開									
○相談支援を利用している障がい者等の人数									
	実人員 (重複有り)	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	その他	
障がい者	13	1	0	2	10	0	0	0	
障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	13	1	0	2	10	0	0	0	
○支援方法									
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	37	13	15	80	0	4	33	0	182
○支援内容									
	福祉サービスの利用等に関する支援	障がいや病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援		
件数	5	50	41	50	0	6	10		
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0	0		
	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計			
件数	50	5	12	0	5	234			
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0			

事業名	事業の具体的内容と目的							
特定相談支援・ 障害児相談支援 事業 (2-9-50)	社会資源や福祉サービスなどを活用し、障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援する事を目的とする。 障がい福祉サービス等を申請した障がい者（児）について、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行う。							
事業実績								
○相談支援を利用している障がい者等の人数								
	実人員 (重複有り)	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障 がい	その他
障がい者	24	5	0	5	19	0	1	0
障がい児	9	0	0	4	0	0	0	5
計	33	4	0	7	21	0	0	5
○支援内容（回）								
	サービス利用支援		継続サービス利用支援		その他			
障がい者	24		53		24			
障がい児	9		14		15			
計	33		67		39			
○計画相談支援給付費（円）								
障がい者	831,440							
障がい児	182,810							
計	1,014,250							
○令和7年度推移（人）								
	新規利用		支援終了					
障がい者	5		2					
障がい児	3		0					
計	8		2					
○研修等								
・ 初任者研修に1名が受講した。								
○その他								
未請求あり								

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・情報交換会 (3-10-55)	保健福祉センターいきいきプラザ都留の中にある、福祉課、長寿介護課、健康子育て課、社会福祉協議会の四者で情報交換・意見交換を行い、各々の使命・役割・事業内容を共有化し、市民にわかりやすく市の保健・福祉・介護・子育て関係の情報を提供するとともに、市民からの問い合わせや相談対応に関して、適材適所に結び付けるよう四者で連携することを目的とする。
事業実績	
○情報交換等	
・ 福祉課や長寿介護課と予算関係や各種委託・補助事業についての協議を随時行った。	
・ 健康子育て課とは認定こども園に通うひとり親世帯に対する食料支援などに伴う協議を行った。	

事業名	事業の具体的内容と目的
地区社協支援事業 (3-11-56)	地区社協は、住民一人ひとりが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織です。地区住民や、町内会・自治会、民生委員・児童委員、その他地区の各種団体から選出された代表者によって構成される住民組織です。地区社協は、生活上のいろいろな問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や福祉の風土作りを進めていく活動を支援しそれぞれ地域に根ざした福祉活動の展開を図ることを目的とする。 活動費の助成と、市社協から地区担当職員を配置する。
事業実績	
○地区社協への助成 ・地区社協へ活動交付金を支給し、福祉活動を推進するため助成した。(合計 1,649,760 円) ○地区社協支援 ・7地区社協それぞれに市社協の職員を配置し、連携を密に地域福祉活動を推進した。 ・都留市自治会連合会へ地区社協への協力を要請した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業 (3-11-57)	都留市民生委員・児童委員協議会事業の育成を目的とし、助成金を交付する。
事業実績	
○助成事業 ・都留市民生委員・児童委員協議会へ助成した。(246,000 円) ○支援事業 ・市社協の事業説明及び各種事業実施にあたり調査や協力を要請した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉基金事業 (3-12-60)	個人及び企業・団体等から受ける寄付金を積み立て、都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。
事業実績	
○基金の取り崩し ・地域福祉活動計画中間評価のために 168,003 円 ・社会福祉事業推進に伴う車輛整備のために 1,780,000 円を取り崩した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バザー事業 (3-12-61)	市民の誰もが参加できる社会福祉活動として、市民の方より遊休品の提供を受け実施する。 会場を旧旭小学校体育館に移し、令和6年12月7日・8日・9日の3日間開催した。
事業実績	
○福祉バザーの実施 ・1日目レジ通過人数 274 名、協力者 35 名、職員 14 名 ・2日目レジ通過人数 128 名、協力者 13 名、職員 13 名 ・3日目レジ通過人数 9 名、職員 2 名 ○寄付・売上 ・寄付物品数 8,731 点 (昨年 8,305 点 +426 点) ・売上金額 1,007,200 円 (昨年 919,100 円 +88100 円)	

事業名	事業の具体的内容と目的
地域福祉活動計画事業（組織発展・強化計画含む） (3-13-62) (3-13-63) (3-13-64)	地域福祉活動計画は、都留市に暮らす誰もが、より暮らしやすくなるような「地域社会」を住民自身の手で作りに上げていくための計画とし、様々な立場の住民の声を聞き、浮かび上がってきた地域社会の課題を解決するために、具体的な行動を起していくことを目的とする。 また、市社協を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉ニーズも複雑化・多様化している。このような中、改めて市社協の使命を明確にした上で、市社協の経営理念・経営ビジョンを示し、その実現を計画的に図るため、都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画を推進し、地域福祉活動計画を着実に推進する。
事業実績	
○第3次都留市地域福祉活動計画推進会議 ・管理会議にて進捗状況を共有した。（年12回） ・管理者、事務局リーダー含め地域福祉活動計画中間評価委員会実施に向け協議した（年6回） ○【新】第3次都留市地域福祉活動計画中間評価委員会 ・中間評価委員会を実施した。 （令和7年11月10日 参加者：27名） ○組織発展・強化計画 ・進捗状況の共有を行った。（年1回） ○調査・研究 ・中間評価委員会開催に向け各地区担当中心に各地区社協の現状把握を行った。 （各地区社協2回 計14回）	

事業名	事業の具体的内容と目的
地域福祉研究事業 (2-7-26)	地域社会における今日的課題に対する調査研究や先駆的・試行的取組等を通じて、新たなサービスを開発し、地域福祉の向上を図ることを目的とする。
事業実績	
○交流会 ・生きがい買い物ツアー交流会を実施した。 （令和7年4月12日 参加者31名） ○調査・研究 ・買物支援については、引き続き生活支援体制整備事業や都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業等にて調査研究を行い、令和8年度買物支援ボランティアが実施できるよう実施要綱を整備した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
非常災害基金事業	社協の事業の円滑な運営を図るため、非常災害基金を設置する。基金は災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するための財源に充てる。また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てる。
事業展開	
○積み立て ・災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するため、また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てるための基金事業であり、令和7年度は利息を積み立てた。	

介護サービス事業

事業名	事業の具体的内容と目的						
居宅介護支援事業（介護保険事業・介護予防事業・認定調査） （ケアマネジャー） （2-8-38）	目的：要介護、要支援状態等にある利用者に対し、適正な居宅介護支援を提供する事を目的とする。 事業内容：利用者が、要介護状態等にあっても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う。 新しい社会資源開発に向けて地域ニーズ、実態把握を目的とし地域にニーズをキャッチし地域の生活課題として提起を行う。						
事業実績							
○プラン作成 ・利用者が可能な限り、その居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう、適切な居宅サービスや施設サービスが利用できるようなケアプランを作成した。 <table> <tr> <td>1 延べ利用人数</td><td>1402 名</td></tr> <tr> <td>2 月平均ケアプラン作成件数</td><td>108.9 件</td></tr> <tr> <td>3 ケアマネ1人当り件数</td><td>36.3 件</td></tr> </table> ○認定調査の実施 ・27件実施した。 ○研修等居宅介護支援事業所連絡会・介護サービス事業所合同学習会へ出席し、市内の他事業所や行政と連携・連絡を密にするほか事業所内での事例検討会を開催、各種研修会等に参加した。		1 延べ利用人数	1402 名	2 月平均ケアプラン作成件数	108.9 件	3 ケアマネ1人当り件数	36.3 件
1 延べ利用人数	1402 名						
2 月平均ケアプラン作成件数	108.9 件						
3 ケアマネ1人当り件数	36.3 件						

事業名	事業の具体的内容と目的				
訪問入浴介護事業 （2-8-39）	自宅へ訪問し、要介護状態にある利用者に対し、入浴介護を提供する。				
事業実績					
○実施内容 ・利用者が自宅で、安心してゆっくりと入浴ができるように援助を行った。 <table> <tr> <td>延べ利用人数</td><td>: 320 名</td></tr> <tr> <td>月平均利用数</td><td>: 26.66 件</td></tr> </table>		延べ利用人数	: 320 名	月平均利用数	: 26.66 件
延べ利用人数	: 320 名				
月平均利用数	: 26.66 件				

事業名	事業の具体的内容と目的				
訪問介護事業（ヘルパー） （2-8-40）	要介護者、要支援者等を対象に、在宅での自立支援の為に、身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図る事を目的とする。				
事業実績					
○実施内容 ・要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を図った。 <table> <tr> <td>延べ利用人数</td><td>: 5,479 名</td></tr> <tr> <td>延べ訪問時間</td><td>: 4,615 時間 21 分</td></tr> </table>		延べ利用人数	: 5,479 名	延べ訪問時間	: 4,615 時間 21 分
延べ利用人数	: 5,479 名				
延べ訪問時間	: 4,615 時間 21 分				

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防軽度生活支援事業 (2-8-32)	65 歳以上の独居虚弱高齢者及び虚弱高齢者の世帯を対象に介護認定に関わらず、軽易な日常生活上の援助を行い、自立を支援する事を目的とする。
事業実績	
○対象者 ・要支援 1・2 の認定を受けた方、または 65 歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯で、日常生活に支援が必要な方を対象としているが、令和 7 年度の利用者はいなかった。	

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生活支援総合事業 (訪問介護) (2-8-41)	訪問介護事業者として要支援・事業対象者の在宅での自立支援のために身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図ることを目的とする。
事業実績	
○実施内容 要支援 1 または 2 の認定を受けている方に対し、訪問介護サービスを実施した。 延べ利用人数 : 256 名 延べ訪問時間 : 256 時間	

事業名	事業の具体的内容と目的
通所介護事業 (デイサービス) (2-8-42)	要介護者、要支援者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことを目的とする。 送迎、バイタルチェック、入浴支援、昼食の提供、体操、レクリエーション、作業療法、外出行事、保育所・幼稚園・小中高大学生やボランティア団体と交流の機会を設け、地域住民との関わりを持ちながらサービスを行う。 ・介護者の負担の軽減を図る。(介護離職の防止など)
事業実績	
○実施内容 ・要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うなど適切なサービスを提供した。 営業日 307 日 延べ利用人数 7,671 名 1 日平均 24.9 名	

事業名	事業の具体的内容と目的
生きがい通所サービス事業 (2-8-33)	介護保険の認定で、“非該当”と認定された方を対象に、生きがいと社会参加を促進し、要介護状態になることを防ぐため、デイサービスを提供する。
事業実績	
○対象者 ・介護保険の対象外、または軽度の方を対象としているが、令和 7 年度の利用者はいなかった。	

事業名	事業の具体的内容と目的
重度障害者訪問入浴事業 (2-9-51)	地域における身体障がい者の生活を支援する為、居宅において入浴する事が困難な身体障がい者に対しての入浴サービスを提供する。
事業実績	
○対象者 ・ 自宅で入浴することが困難な、身体の重い障がいがある方や寝たきりの状態にある方を対象としているが、令和7年度の利用者はいなかった。	

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護） (2-8-43)	利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持、改善を図り、要介護状態になることを予防し、自立した日常生活を営むことを継続していくことを目的とする。 送迎、入浴、体操、レクリエーション、リハビリ、昼食、生活相談など。心身に沿ったサービス提供を行う。
事業実績	
○実施内容 ・ 要支援1相当又は2相当の状態にある利用者に対して、自立した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行い、機能訓練等の予防介護その他適切なサービスを提供した。 営業日 307 日 延べ利用人数 363 名 1 日平均 1.1 名	

事業名	事業の具体的内容と目的
自立支援居宅介護事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、同行援護） (2-9-52)	利用者が居宅において日常生活を営む事が出来るよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事・生活等の相談・助言、その他生活全般にわたる援助を行う事を目的とする。 障害者総合支援法に基づいて事業を提供する。（身体障がい者・知的障がい者・児童・精神障がい者） ・ 視覚障がい者を対象に同行援護（移動に必要な情報の提供や移動の援護、介護等）を実施する。 キャリアアップのための研修に参加する。
事業実績	
○実施内容 ・ 障がい者の在宅での生活を支援するため、居宅生活支援事業（ホームヘルプサービス）を実施した。 精神障がい者：861 名 (1,010 時間 45 分) 身体障がい者：396 名 (437 時間 15 分) 知的障がい者：787 名 (845 時間 45 分) 児童 : 0 名 (0 時間)	

事業名	事業の具体的内容と目的
障害者移動支援事業 (2-9-53)	障がい者の方々が地域において自立した生活が出来るよう、都留市より事業認定を受け、買物の移動や行事への参加や余暇活動への参加等様々な活動に対する移動支援を行う事を目的とする。
事業実績	
○実施内容 ・障がい者の方々が地域において自立した生活ができるよう、買物時の移動、余暇活動の参加等様々な生活支援を提供した。 延べ利用人数 : 7 名 延べ利用時間 : 21 時間	

事業名	事業の具体的内容と目的
基準該当生活介護事業 (2-9-54)	障害者総合支援法に基づき、障害区分認定を受けた身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者に対し、高齢者のデイサービス（介護保険）と同様なサービス（送迎・バイタルチェック・入浴支援・昼食の提供・体操やレクリエーション）を提供し、障がいを持った方もできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう在宅福祉の充実を図ることを目的とする。 社会的孤立を解消し、心身機能の維持と向上を図る。 介護者の負担の軽減を図る。（介護離職の防止など）
事業実績	
○実施内容 ・利用者ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう基準該当生活介護（デイサービス）を実施した。 営業日 307 日 延べ利用人数 216 名 1 日平均 0.7 名	

事業名	事業の具体的内容と目的
養育支援訪問事業 (2-6-24)	子育てしやすい環境の構築を図るため、家族等の援助が受けられない子育て家庭等に対し、「子育て応援ヘルパー」を派遣し、育児や家事を援助することを目的とする。
事業実績	
○実施内容 ・子供のお世話や掃除等、育児や家事の援助を行った。 延べ利用人数 : 15 名 延べ利用時間 : 20 時間 30 分	